



總裁貌下近影

薪流会總裁
大井際
断

「世界七不思議」

新流

私は、約二十年前にドイツ人の案内により、禅堂設営の為に、ポルトガルとスペインを訪問した時に幸いにも、マドリードの西五十キロにあるエスコリアル宮殿を親しく見学する機会にめぐまれた。誠に有難い極

此の宮殿は、天正十年（一五八二年）日本の天正少年使節団を謁見したスペインのフェリペ二世が、廿一年かけて作り上げた大建築物で、離宮と修道院と靈廟との三大合同建築物で、世界の七不思議に価する立派

古代ギリシャのエフェソスのアルテミス神殿以外は、ほとんど消滅してしまった古代の世界七不思議だが、吾々は、第八不思議として、現存するスペインのエスコリアル宮殿を挙げて行きたい。

エジプト、ギザの大ピラミッドと、みであつた。

〒616-8035
京都市右京区花園妙心寺町53
養徳院内 横江 桃國

発行
〒509-0301
岐阜県加茂郡川辺町下麻生1998
大雄寺内 大野 祥雲

編集
〒507-0068
岐阜県多治見市大薮町1238
東明寺内 土岐 正觀

新流会ホームページ
<http://www.shinryukai.jp/>

印刷
〒505-0021
岐阜県美濃加茂市森山町1-1-34
有限会社 永田印刷

く、宗教の教理に従い、上求菩提、下化衆生をモットーとして、薪流会の一員として、社会浄化と社会福利の為に一致協力、奮斗努力して骨折つて行きたいものである。

フェリペ二世は此の宮殿の中で艦隊を指揮したことは有名な話である。居してスペイン無敵艦隊を指揮した當時のスペインの画家エルグレコも、此の宮殿を拝観して大いに感動したという。彼は、ロヨラ神父の「心靈の修養」という書を読み宗教画に全身全靈を捧げてゆく。ロヨラは、イエズス会の創立者でキリストの兵士となることを決意して、遊行と苦行と祈りの生活を送りつづけたのである。

「世界七不思議」――総裁	大井	際断	1
挨拶	新会長	大野	祥雲
祝辞	龍雲寺	細川	景一
禪の心	茶の心	有馬	頬底
十五周年記念事業の感想	松尾	静明	4
方言詩紹介			13
托鉢報告			10
法衣店主のつぶやき――神田			20
総会報告	新三	16	16



新会長

大野 祥雲

挨拶

このたび新流会十五周年を機に、保子令謙会長が本人の強い意志により、勇退を本年度新流会総会にて表明され、なお同時に「保子令謙会長辞職及び残任期間（二ヶ年）を副会長の大野祥雲に会長就任を推举する」の緊急動議を総会議場に提言・同議場に於いて承認され、私が保子令謙会長辞職後の残任期間の会長を勤めることになりました。

臨済宗新流会は横江桃国初代会長（現名誉会長）の独創性と実行力・強力なリーダーシップ、保子令謙前会長の和合専一と緻密な洞察力により発展拡充、活動を継続し新流会十五周年東京大会を開催致す事が出来ました。

また我が宗門に於いて新流会が画期的な存在となり、また発会当初の理念である「上求菩提・下化衆生」を本に、総裁・顧問老大師を始め、参与の特別役員また協力企業及び会

人として、共に「水を汲み薪を拾つ」なかで大いに教えをいただき感謝いたしております。今回保子会長辞職に伴い会長に任命頂きました私は会長の任には適さず、リーダーと言うより事務的仕事が適任かと思います。今後果たして生來の無骨にして懈怠な私ですが、新流会会長の名に相応しく勤まるのか、總裁・顧問老大師を始め関係各位の皆様の期待に答えることが出来得るのか自問自答してきました。しかし本年度総会に於いて嚴命を賜りましたからには一命に代えても「上求菩提・下化衆生」に精進致すことを決意し邁進することを皆様にご誓約申し上げます。

さて本会の責務を考えると、必ず会員各位の成仏、即ち煩惱を断じて悟りを開くこと言い換えれば死にきることであり、宗教者の立脚点に立ち真摯に責務に勤めるこの一点だと思います。

ホームページに至つては、十五周年会計にて基金を計上することがでてきました。しかし本年度総会に於いて内容の充実を図つていく次第です。研修会等は、例年の研修会に加え寺院規則の研修セミナーを開設致したく、出来得れば該当寺院の寺院規則作成までと考えております。

会報「新流」は充実していますが、既成の紙面に併せ檀信徒の教化面を探つて行きたく考えています。

顧問老大師と会員の交流の機会を出来得る限り設定して、会員各位の向上を図つて行きたく考えています。托鉢・支援等の諸事業に至つては現状を継続して行きたく考えています。

員各位の絶大なるご支援とご協力により、社会的にも認められ得る組織活動を展開してきました。

私事ながら発会当初より役員の一として、共に「水を汲み薪を拾つ」なかで大いに教えをいただき感謝いたしております。

今後の方針として考えますに、本会会員が主に中部・及び西日本と広範囲に散在している現況を考慮して運営を行う必要性が在ると思います。充実した活動をしていく浜松支部の例を参考にして、更なる支部の開設等の可能性を模索していきたく考えております。

関係各位に置かれましては、今後とも引き続き、絶大なるご支援ご協力を賜りたく初頭に望んで伏して懇願申し上げます。

十五周年祝賀会に於いて總裁老大師のご垂訓に

をして行きたく考えます。

恐縮ながら所信を述べさせていたしました。

横江名譽会長が活動の基礎を構築され、保子会長任期に於いて、浜松支部の立ち上げ、ホームページの開設が行われました。

「新流会は供養と回向に尽きる。他人の幸福のために大切なことは成仏であり。会員の一員としても他人のために回向に努めてほしい」と叱咤を頂きました。この言葉を新流会会長の座右の銘として衷心に刻み精進を致す所存であります。

十五周年祝賀会に於いて總裁老大師のご垂訓に

だきました。

祥雲九拜

として、共に「水を汲み薪を拾つ」なかで大いに教えをいただき感謝いたしております。

展開に於いて実践活動を邁進していくには、若い人材の加入と登用であり、多くの意見を取り入れて活動

をして行きたく考えています。

会報「新流」は充実していますが、既成の紙面に併せ檀信徒の教化面を探つて行きたく考えています。

顧問老大師と会員の交流の機会を出来得る限り設定して、会員各位の向上を図つて行きたく考えています。

托鉢・支援等の諸事業に至つては現状を継続して行きたく考えています。



祝辞

妙心寺派宗務総長
龍雲寺住職



細川景一師

新流会発足十五周年誠にお目出度うございます。

ここまでご尽力された総裁大隱窟

老大師始め関係各位の御苦労に対し

て心よりお喜び申し上げます。

さて、日本は戦後の荒廃の中で経済復興に向かつて邁進努力をし、その結果オリンピックを誘致し、世界の誇る新幹線を開通させ、さらには全国を縦横に高速道路を走らせ、未曾有の経済を発展させバブル経済を造りあげてきました。しかし、そのバブルもはじけて昨今の社会状況は、かつてわれわれが体験したことなど、いような大変化が進行しつつあり、心胆をからしめる事件も多く、世情不安も極みに達し、人身の平安もいまだ遼遠なるものがあります。「心」の時代といわれて久しいですが、事態は裏腹に「心」から益々離れていくといつても過言ではありません。

その中で伝統仏教の存在意義が厳しく求められています。それにどう答えて行く事ができるか私達に課せられた大きな課題です。

貴会は発足以来「上求菩提 下化衆生」を本旨として永年に渡つて行動する仏教として活動して来られました。

特に阪神淡路大震災を初め数多い災害の中で苦しむ多くの人々に対しボランティア活動を中心いろいろ支援して来られました。この事は日本仏教の在り方に一つの指針を与えていると信じます。

妙心寺派は平成二十年に開山無相大師の六百五十年遠諱大法会が予定されており、その記念事業の一つとして、東京禅センターを開設しました。思えば地方の過疎化が進むなかで日本の人口の約三分の一に当たる約四千万人の人口が東京及びその周辺に住んでいます。この地での布教教化なくして宗門の明日はないと言つても過言ではありません。

今回、貴会が東京サバクと云われるその東京で講演・托鉢・チャリティー墨蹟展等の十五周年記念事業を盛況裡に円成されました事、別な意味で敬意を表するところです。

これを機に禅センターと協力しあつて「君は水を汲め我は薪を拾わん」の切磋琢磨生き生きとした行動で東京に禅風を挙揚しようではありませんか。

貴会の益々の御発展を祈念申し上げお祝いの言葉とさせて頂きます。

“こころの豊かさ、こころのやすらぎ”が私たちの商品です。



ナモリアルアートの大野屋

創業昭和14年

本社 03-5386-4181 〒171-0033 東京都豊島区高田3-13-2 高田馬場T Sビル
 関西支社 0120-78-7777 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4-1108 大阪駅前第四ビル11F
 梅田お墓のご相談センター 0120-30-7777 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-2-B2-34-1 大阪駅前第二ビル
 北大阪支店 0120-30-7775 〒562-0027 大阪府箕面市石丸3-2-6
 南大阪支店 0120-61-3388 〒585-0041 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分851
 南大阪支店・和歌山営業所 0120-61-3388 〒640-1251 和歌山県海草郡野上町国木原577-3
 京都支店 0120-31-7777 〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町下ル三丁目13-3-203 ホーユウコンフォルト二条城前
 神戸支店 0120-35-8805 〒651-1263 兵庫県神戸市北区山田町西下字狼谷3-1
 メモリアル相談センター三宮駅前 0120-31-0388 〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6-1-15 ダイエー三宮駅前店サンシティ2F
 名古屋支店 0120-44-1888 〒470-0316 愛知県豊田市千鳥町梨ノ木258

薪流会創立十五周年記念講演会

禅の心 茶の心



大本山相国寺派管長

有馬頼底老大師

京都から参りました有馬でござい

ます。さつき会長さんが私の言いたいことを大体言つてしまつたもので、言うことないみたいな感じなんあります。

先程のお話しに出ました広瀬淡窓先生。わたくしが小僧時代を過ごしました大分県の日田市、妙心寺派の岳林寺、ここから歩いて二、三十分のところに「咸宜園」というところがあり、ここが淡窓先生の塾です。最初は成章塾というのをつくられましたが、ここが桂林莊といいう寄宿舎のようなところで、学生たちが寝とまりしていました。その学生たちに示されたのが「桂林莊雜詠書」生に示す」という七言絶句です。一応ここにあげて見ましよう。

桂林莊雜詠、書生に示す

「休道他郷多苦辛 同袍有友自相親
柴扉曉出霜如雪 君汲川流我拾薪
道うことを休めよ 他郷苦辛多し、

同袍友有り 自ら相い親しむ、柴扉曉に出づれば霜雪の如し、君は川の流れを汲め 我は薪を拾わん。

この結句から「薪流会」の名となつたとうけたまわりました。この句は

日田の人たちの誇りなのです。実は三日まえに日田へ行つてまいりました。私が弁財天を開眼いたしまして、その例祭にいつたのですが、春秋二度の例祭です。それは、私の同級生の方たちが、これは淡窓先生の詩から「相親会」という会をつくってお手伝いしていただいております。

私はこの日田市立光岡国民学校を六年で卒業したのですが、卒業証書はこの六年しかありません。旧制の先生は、全国から集まつてくる学生たちをはげますために、この詩を作られました。故郷を遠く離れてきた学生たちはどんなにか勇気づけられたかしれないと思うのです。中には後に日本陸軍を創設した大村益次郎もいました。彼は村田藏六といい、

その入門書も残っているそうです。
桂林莊雜詠、書生に示す
「休道他郷多苦辛 同袍有友自相親
柴扉曉出霜如雪 君汲川流我拾薪
道うことを休めよ 他郷苦辛多し、

この塾からさまざまな人材が育つていったのです。先生は実に立派な教育者であられました。生涯を教育に捧げ、一生独身でした。妹の廣瀬秋子さんがお兄さんのお世話をされたので、この秋子さんもお兄さんのために一生独身を通されたのでした。

私はこの日田市立光岡国民学校を六年で卒業したのですが、卒業証書はこの六年しかありません。旧制の先生は、全國から集まつてくる学生たちをはげますために、この詩を作られました。故郷を遠く離れてきた学生たちはどんなにか勇気づけられたかしれないと思うのです。中には後に日本陸軍を創設した大村益次郎もいました。彼は村田藏六といい、

その入門書も残っているそうです。
桂林莊雜詠、書生に示す
「休道他郷多苦辛 同袍有友自相親
柴扉曉出霜如雪 君汲川流我拾薪
道うことを休めよ 他郷苦辛多し、

この塾からさまざま

な人材が育つていったのです。先生は実に立派な教育者であられました。

生涯を教育に捧げ、一生独身でした。妹の廣瀬秋子さんがお兄さんのお世話をされたので、この秋子さんもお兄さんのために一生独身を通されたのでした。

私はこの日田市立光岡国民学校を六年で卒業したのですが、卒業証書はこの六年しかありません。旧制の先生は、全國から集まつてくる学生たちをはげますために、この詩を作られました。故郷を遠く離れてきた学生たちはどんなにか勇気づけられたかしれないと思うのです。中には後に日本陸軍を創設した大村益次郎もいました。彼は村田藏六といい、

その入門書も残っているそうです。
桂林莊雜詠、書生に示す
「休道他郷多苦辛 同袍有友自相親
柴扉曉出霜如雪 君汲川流我拾薪
道うことを休めよ 他郷苦辛多し、



勉強したいことは、自分でやるしかないのです。しかし、小僧時代にうけた教育は実に厳しいものでした。久留米にあります私の家の菩提寺の梅林寺という専門道場がありますが、そこは全国でも荒修行で知られたところでしたが、そこを出られて間のない頃ですから、山僧でも雲水なみの厳しい教育でした。

梅林寺の僧堂を出られた方もおられると思いますが、毎年一度日田遠鉢をなさる。久留米から久大線沿い

に托鉢をしながら歩いてこられるのですが、米をかついで途中で走るところがあるのです。それはきついものでしょ。新到さんなんかへとへとなるのです。岳林寺へ到着されると高单さんは新到を本堂の裏へならばせて、竹の棒でしごくのです。それを毎年見ていますから、なるほどこうしないと一人前の禪僧にはなれないのだと思つたものです。脱落したらそれでおしまいなのです。それでどうしようかと、そんな折に相国寺僧堂の大象窟大津櫻堂老師に相見する機会があり、よし、この老師につこう、と心に決め、昭和三十年の春に相国寺の僧堂に掛塔したのです。

それはさておきまして、近頃あちこちから対談をとかインタビューとかの申し込みがあるのですが、質問者に申します。「むずかしい禪の話は一番苦手なのでよろしく。」といふと「では何をききましょ。」「なんでもかまへん。」というのです。すると結構よい対談になるんです。先日も女優の真野響子さんと対談をしまして、「禪の心・茶の心」というんですが、真野さんとのご縁は、中国の房山石経というところ、ここは隋の国から続く事業、千何百年も続くものなので、つまり国が亡びて佛法が

すたれてしまうのをおそれ、今のように石にお経を刻んで埋めておけば、後世の人たちが掘り起こしてそのお経を学ぶことができるということなのです。千何百年も継続事業をしている中国という国はやはりすごい国だと思うのです。石に刻んでおけば大丈夫というわけです。書の大人は王義之といわれますが、この王義之の書なども、石に彫つたものしか残っていないそうです。石だから残ったのです。お経彫つた石が埋めてあるのが房山石経ですが、中国政府はその石経の発掘調査をされ、それが終了したので元のとおりに埋め戻すことになったのですが、中国では九の数字はとてもお目出たい数だそうです。そこで、一九九九年九月九日午前九時九分九秒に埋めもどしを始められるのです。その大行事を大阪の毎日放送が取材をなさることになり、そのインタビューとして真野さんが来られたのでした。真野さんは実に的確な質問をされ、大変楽な思いをしました。それからしばらくして朝日新聞からインタビューの申し込みがあり、質問者に真野さんをお願いした訳でした。前後三回にわたり、一度は自坊の大光明寺、一度は九州の日田の弁財天で、最後



会場風景

金閣鹿苑寺でしましたのが、「禪の心・茶の心」であります。真野さんとの縁はそういうわけなのです。結構一般の方が読んで頂いておりますが、この本で私が一番強調したのは、禪は体験の宗教で、体験したことが正味なのです。体験だけが正真正銘自分のものなんです。それを強調しておきました。茶の心というのも、侘び茶を大成されたという千利休居士に私の先祖が直弟子となつていたことによるわけです。有馬家初代の則頼は豊臣秀吉のお伽衆に入つていて、この頃の武将は大方利休の弟子になつてているように、茶の湯をやることが一種のはやりのようになつていていたようです。則頼、そ

精進料理・慶事・仏事御膳料理

御料理・仕出し

紀文

岐阜県山県市青波 262-1
本店(代) TEL. (0581) 52-1090
FAX. (0581) 52-3020
岐阜サービスコール ☎ 0120-371605

御袈裟法衣調進所

みやび
雜法衣店

〒602-8407
京都市上京区大宮通寺之内通り下ル西入伊佐町237
TEL (075) 431-5098
FAX (075) 431-8495

して子息の豊氏もよく茶の湯をやつております。名物道具も所持しておつた様です。初代といつても九州久留米藩の初代で、桃山の話しだすが、実は鎌倉、南北朝時代の赤松円心入道則村が、祖先なのです。この赤松円心は今私が住職をしております相国寺の開基、赤松義満の祖父、足利尊氏をたすけて建武の中興をなしとげた人物なのですが、せっかく応援をした後醍醐天皇との間が不和となり、一旦九州へのがれ、再度上洛の折に幡麾守護にあつた赤松が、尊氏一行を迎えて合流し、足利幕府を建てたのです。その尊氏の孫の義満の建立した相国寺に私が住職をしているということは、何か因縁を感じずにはおれないのであります。

その義満もわずか九歳の時父義詮が急死してしまいます。わずか十歳で将軍職についた義満を教育したのが、夢窓国師の高弟春屋妙葩禪師であります。

それはのちに述べるとしまして、足利氏は武家集団、源氏の棟梁であり、その武家集団の不満によって後醍醐天皇は吉野へ遷幸され、これが南北朝のはじまりでした。延元四年（一三三九）天皇は失意のうちに、片手に剣を握り、片手に法華経を握

り、「吾魂魄永遠に北闇にあり」といつて崩ぜられたのでした。ですから吉野にあります天皇陵はちゃんと京都の方へ向いてたてられてあります。天皇崩御をきかれた夢窓国師は、尊氏直義兄弟を呼び、あなたたちのために吉野で無念の最後をとげられたのだから、天皇の菩提を弔うために一寺を建立せよ、と命じられたのです。そこで兄弟は一寺の建立にとりかかり、最初は暦応四年に一応暦応寺として完成を見たのが、のちに天龍寺として完成したのでした。そこの落慶法要の際の法語に

「足利兄弟が、一点無明の煩惱故に元弘以来の戦が起り、幾多の民衆が苦しんだのである。彼等はその罪を悔い、懺悔の為にこの寺を建立するのである。」と云われたのです。これを聞いた兄弟は、国師の膝下において恐懼礼拝したと伝えられています。さすが足利兄弟です。「我々が至らぬためのことでありました。」と速座に懺悔されたのは、やはりリーダーとしての姿だと思うのです。ともすると他のせいにしたがるものですが、今の政治家の人たちも見習ってほしいものです。後醍醐天皇も足利兄弟も国師の人たちも見習つ

ておられます。

そのようなことのながれとして三代將軍義満にも、国師の高弟春屋妙葩禪師、義堂周信、絶海中津という勝れた禪僧方がおられ、幼い將軍をよく補佐されたのでした。

実は尊氏が足利幕府をたてた時は、強力な守護大名たちの協力によつて、連立内閣を組んだのでして、必ずしも將軍がピラミッドの頂点にいたわけではなかつた。連立はどうしても基盤が弱いのです。ですから將軍は頂点に立つことなのです。それを宿題として立つた三代目の責任は重いわけです。しかも祖父のおかげで南北朝時代がまだ続いているのです。この両朝統一という大問題が控えて

いたのでしよう。特に弟の直義は熱心な求道者であつたのです。副將軍としてさまざまな悩みがあつたのでしょう。その苦しみを国師にぶつけたので、その質疑応答を集めたのが「夢中問答集」として残っています。政治家としての参禅であつたのです。その質疑



フリーダイヤル 0120-86-2779

仏壇・位牌・寺院用具・仏教美術品

ぬしや仏具店

浜松市浜北区貴布祢504-7
FAX 053-586-8779

漆・金箔の天竜工房
浜松市天竜区西藤平1664

仏壇・工芸品修復の新原工房
浜松市浜北区新原4243-1

る。それには修行せねばならぬ」というので弟弟子の義堂周信について参禅せよと命じられたのです。それからが義堂と義満の一対一の参禅が始まっています。

義堂の日記「空華日用工夫集」というのに、義満が次第に禅に入つて行くありさまが詳しく述べています。ある一日など、西芳寺（苔寺）の坐禅堂西指庵でのこと、本堂では連歌の会が催されていましたが、義堂と義満はマンツーマンで西指庵で坐禅をし、義堂は楞伽経を講じます。夕暮になり、庵を出たところで方丈の方で歓声が聞こえてきました。おそらく連歌の勝者が決まつたのでしょうか。その声を聞いた義満は、義堂にむかいで「今一度庵内で坐禅をご指導下さい」といってから明け方まで続いたとのことです。それをきかれた春屋妙葩禅師は、「憶々、その求道心たるやありが度きことなり」といつて涙されたということであります。そんな努力の甲斐があつて立派な将軍に育つていったのです。

師の春屋妙葩の師、夢窓国師の三十三回忌の折、春屋禅師に向かい、「私も天龍寺まで参禅に通うことがむづかしくなってきた。将軍として多忙となつたので、この室町幕府から歩

いて参禅できる一寺を建立したい。そこで修行僧と一緒に坐禅をしたいのである。」それをうけて春屋禅師は、「あなたの祖父尊氏公が建てられた天龍寺に勝るとも劣らない立派な一寺を建立なさることをおすすめする」といわれました。それから十年の歳月をかけて創建されたのが、現在の相国寺であります。この地は元神宮寺と聖一派の安聖寺にまたがつたところでした。

この神宮寺は、奈良朝で聖徳太子を先頭に中国から仏教文化を導入され、在来の日本の神道と、新たに入れた仮想との融和をはかるために、神社の中に寺を建てて、神社の事務を司つたのですが、この神宮寺は上賀茂神社の寺としてできたのです。

鎌倉時代、ここに住んで毎日上賀茂神社に願をかけられたのが後にわが國に浄土教を開かれた法然坊源空、法然上人であります。この神宮寺から上賀茂へ通われた路が法然筋として今に語り伝えられていて、道路の名として残つております。

又神宮寺には美しい池があり、この池の水のような澄んだ心で仏道を成就したいと願われたことから、池のあと地が井戸として残つており、これも法然水として名所として残つ

ておりました。それから十年の歳月をかけて創建されたのが、現在の相国寺であります。この地は元神宮寺と聖一派の安聖寺にまたがつたところでした。

この時起工式には、春屋禅師とお二人で「畚」をかついで土をはこばれだと記録にあります。

明徳二年に十年の歳月をかけて創建した相国寺は完成しました。そして長年の宿題であつた南北両朝の統一も六十年ぶりに成つたのです。義満としては、南北統一と相国寺完成とが重なり実に目出度い年となつたのでした。

統一初代は北朝の後小松天皇であります。この北朝の血筋が現在までも脈々と伝えられております。

日本人の中には奈良時代から神と佛、これがある。心中では必ず神様と佛様が一緒におられます。そこで今私どもが立ち上げようとしてお

いて参禅できる一寺を建立したい。そこで修行僧と一緒に坐禅をしたいのである。」それをうけて春屋禅師は、「あなたの祖父尊氏公が建てられた天龍寺に勝るとも劣らない立派な一寺を建立なさることをおすすめする」といわれました。それから十年の歳月をかけて創建されたのが、現在の相国寺であります。この地は元神宮寺と聖一派の安聖寺にまたがつたところでした。

前にも「一枚起請文」を書き残して高弟の源智上人に託されました。源智はその一枚起請文を首にかけて一生持ち歩いておりましたが、最後にそれを上賀茂神社に奉納して、師の住んだ神宮寺を改め、恩を知る寺「知恩寺」として再建されました。そして知恩寺は今は京都百万辻知恩寺として現在にいたつております。

公益社

本社／京都市中京区烏丸通三条下ル ☎ 075(221)4000
フリーダイヤル ☎ 0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

◆葬儀式場◆

公益社北プライトホール	(堀川黎明)	京都市北区紫明通堀川東入 ☎ (075) 414-0420
公益社中央プライトホール	(五条大和大路)	京都市東山区五条通大和大路 ☎ (075) 551-5555
公益社南プライトホール	(堀川八条)	京都市南区堀川通八条下西側 ☎ (075) 662-0042
公益社西プライトホール	(五条西大路)	京都市右京区五条通西大路西入南側 ☎ (075) 322-0042
公益社宇治プライトホール	(宇治槇島)	宇治市槇島町（文教大学前） ☎ (0774) 20-0142
公益社滋賀プライトホール	(大津)	大津市朝日が丘1丁目 ☎ (077) 523-0042

永年の信用
まごころのご奉仕

葬祭センター

りますことは、神社と仏閣を巡拝する百社寺巡拝の札所を定めて巡拝をしていただこうという会を立ち上げることであります。

神宮寺のあとに相国寺が建つたということに思いをいたすところであります。

創建以来六百年、相国承天禅寺、天皇の御意を承つて出来た寺としての事業をしたいと発願し、伝来の寺

宝の修理保存、展示公開、資料蒐集、研修会、講演会等の設備として、「承天閣美術館」を建設させていただき

た。禅宗美術で最も尊重されるのは何といつても「墨跡」でありましょ

う。祖師方の血のにじむ修練の結果得られた境地を、筆墨をもつて露わされたものが墨跡とよんで一般の書

家、文人の書とは一線をかくしてよばれています。ですから墨跡とい

うのは特別な意味があります。禅の宗教的生命は、ただ「見性成佛」に

あります。釈迦の悟りである「一切衆生悉く仮性あり。」と同等の悟りを

開くこと、一切衆生が本来等しく円満にそなえている仮性、真実の自己」

をはつきりと体験し自覚すること、これが禅の悟りの根本なので、坐禅

真実の自己」、仮性を自覚したならば、

その後もさらに修行を続けて悟りを純化していく、いついかなる場合でも、何を言つても、何を行してもそれがそのまま仮作仮行、真実の自己の露呈であるところまで鍛え抜き、最後にはその悟りすら忘れ去り、まったく普通の人と変りなく日常を生きる人間となつて悟りを日常に実践していく、これが禅の目標である。とされています。

禅芸術と呼ぶものがあるとするならば、まず何よりも作者の悟りの表現であり、長い年月の修行によつて鍊り鍛えた人格そのものが、書や画となつて筆墨を借りて流露し、結晶したものであらねばなりません。

私たちが気安く「墨跡」と呼び習わしている禅僧の書は、実はその筆者が悟りを体験していること、これが必要最小限の条件であります。

わが国で侘び茶を大成された千利休も、その著「南坊録」の中に、「掛

物ほど第一の道具はなし、客、亭主共に茶の湯三昧の一心得道の物也、墨跡を第一とす。其の文句の心をう

やまい、筆者、道人、祖師の徳を賞翫する也、俗筆の物はかかる事なき也、仮語、祖語と筆者の徳とかね用

るを第一とし、真実の一軸也、又筆者は大徳というにはあらねども、仮

語、祖語を用てかくるを第二とする也」といつています。(大徳は大徳寺のことではない)

さらにまた、「小座敷の茶の湯は、第一、仮法をもつて修行得道することである。家居の結構、食事の美味を楽しみとするは俗世のことである。

家は洩らぬ程度、食事は飢えない程度でよい。これ仮の教え、茶の湯の本意である。すなわち水を運び、薪をとり、湯を沸かし、茶を点てて、仮に供え、人に施し、われも飲み、花をたて、香をたき、皆々仮の行いの跡を学ぶのである。」ともいつています。

千利休居士は、大徳寺の古溪宗陳禪師について参禅弁道を重ねられ、古溪禪師は、「吾に三十年飽參の徒であります」といつておられます。

その利休居士は、墨跡を第一としていることをみるまでもなく、大切に保存せねばなりません。

我が国にも貴重な墨跡が多く伝来していますが、これもやはり茶の湯の功績と言えましょう。中国の祖師方の墨跡は本国の中国にはほとんど

なく、皆日本に請來されています。中国には、臨済宗として重要な古刹があります。その一つが宗祖の臨

濟寺です。

我が国にも貴重な墨跡が多く伝来していますが、これもやはり茶の湯の功績と言えましょう。中国の祖師方の墨跡は本国の中国にはほとんどなく、皆日本に請來されています。中国には、臨済宗として重要な古刹があります。その一つが宗祖の臨

濟寺であります。ここは我が国禪宗史上欠くことのできない二人の禪匠が住されたところです。第三十六世住持無準師範禪師、それに第四十世虚堂智愚禪師です。特に虚堂禪師は、若き留学僧大応國師南浦紹明禪師の嗣法の師であり、皆様よく御承知の現在の臨済宗の法脈は唯一この虚堂



祝賀会での有馬老大師と総裁

禅師の法脈なのであります。

この径山も復興いたしました。我々
も少しばかりお手伝いができたこと
をありがたく思うところであります。

臨濟寺の落慶法要には、妙心寺管長松山万密猊下を団長として六十名ほどで訪中しましたが、趙先生も出席され、盛大に挙行され、河北日報紙に大きく取り上げられたのでした。

今一つ、相国寺についても申し添えておきます。実は創建の折、寺号について春屋禪師が、「この度の新寺は、京五山の最後の決定となる。そこで中国河南省開封に宋五山発祥の大相国寺があり、その寺号をいただいたらしいかがであろう」と提案され、義満公も大いによろこばれた、と日用集にかかりてあります。まあ六百年前に無断借用したのでした。そこと

で私は単独で開封へ行つてきました。この地は「水滸伝」の舞台で有名な古都で、北宋が都をおいたところであります。私が行つた時は、河南省共産黨の本部となつていました。中々開放されなかつたのですが、趙朴初会長は、政治協商會議の副主席であられ、全国人民代表大会で日本からの開放を演説されたのをきつかけで、依頼以来九年ぶりに開放されたのでした。日中友好寺院の第一号として今でも

を願いたいとのことで、禅堂で無門関の一節を提唱し、最後に臨済宗は唯これのみです、といつて「一喝」をしておきました。曾つて宋から学んだ臨済純禪を今一度中国の地で復興していくいただきたく思うのであります。

茶の湯にしましても、抹茶の風習はまつたくというほど断絶してしまつております。北京の中国仏教協会の本部がおかれている「広濟寺」に、曾つて裏千家のお家元が寄附された

相国寺東京別院（坐禅会会場）

プロフィール

有馬頬底（ありまらいて）

(薪流会十五周年記念講演会
講演録)

そろそろ時間ですのでこの辺で終りたく存じます。ご清聴ありがとうございました。

立礼席の一式セットも、収蔵庫に眠っています。やはり今一度陸羽、盧同時代の唐の伝統を復活してほしいものであります。

寺院仏具(各種記念品)制作・販売

有限会社 天眞堂
中央社寺工藝社

〒451-0031 名古屋市西区城西1丁目10番21号
TEL (052) 532-0607
FAX (052) 532-0608

※軸表装、頂相、天井絵、古軸修理、仏像修理など受け承ります。

薪流会創立十五周年 東京大会に参加して

坐禅会、托鉢に際して

妙心寺派静岡西教区

海雲寺 青山 至公

十一月下旬となり、平成十九年も残り一ヶ月ほどとなつた日、薪流会主催の東京托鉢に参加させていただきました。大変素晴らしい経験をさせて頂いたと、心からこの仏縁に感謝申し上げたく存じます。

初日は金閣寺東京別院にての座禅会であります。都心の喧騒と座禅の静寂とが一体となつた素晴らしい時間となりました。ぴんと張り詰めた空気は、東京の参加者の方にとって日頃の喧騒を離れ、本物の自己と向き合える数少ない機会となつたことでしょう。

心と向き合うことがなかなか難しい昨今、大日本の首都東京の中心部にあるような場所があるというのは、我が国にとって財産であり、都民にとって最後の心の砦となるであろうと痛感いたしております。

二日目の午前には、浅草においての托鉢がありました。周囲に僧堂も

なく、禅の文化がTVや本の中にしか無いと思っている方が圧倒的な都会での托鉢は、托鉢慣れしている街で歩くよりも覚悟が必要でした。何をしているかもわからない不気味な集団にしか見えなかつたはずです。つまり、それだけ我々が掛塔中に行つてきただけで、ある意味守られた範囲の中での行動であり、現状に甘んじていただけなのではいりでしようか。臨済宗が何をしている仏教団なのかもわからない、托鉢が何の事か見当もつかない現状を打破し、お寺がもつと人々の身近なものとなる第一歩を踏み出せたのではないでしょうか。喜捨をいただき、交通孤児の救済をさせていただくのが本来の目的なのでしょうが、たとえ一円も喜捨して頂けなくとも、その姿を東京の方々に見せることができた、だけでも、この度の托鉢は大成功だつたと言つても過言ではないでしょう。浅草寺境内にて我々を合掌で迎えてくださつた参拝者の方々も大勢いらつしゃいましたが、実際に托鉢をその

目でご覧になられたのは、ごく少數なのではないでしょうか。伝法には、

人々の目に留まることが必要であります。遠い山の中の話ではなく、目の前の現実として実感して頂いたことが大事なあります。

追記ではありますが、この度の東京大会に際しまして、ご尽力くださった方々のご苦労は、筆舌に尽くしがたくあられたと理解しております。本当にありがとうございました。

また祖国を大東亜のみならず世界に偉大たらしめんとする根幹は、やはり仏教にあると痛感しております。ラテン語を使った私の造語でござりますが、Pax Mundi par Buddhism (仏教による世界平和樹立) という

言葉も、心の底から感じることができました。

今後の諸活動も、是非参加させていただきたく存じ上げます。



坐禅会

各大本山御用達

たち兵
老舗

草木兵助法衣店

〒604-0024 京都市中京区衣棚通御池上下妙覚寺町

京都 (075) TEL 221-0934 (代表)
FAX 241-0773

電話は営業時間内（午前9時～午後7時）に出来るだけお願いします

托

臨濟宗大徳寺派

鉢

観音寺

市丸

惠超



本日は新流会におまねき頂きました。有難いやら私のような愚鈍な事、尼僧でわがままかつてな寺の生活にて、少しでも身に入ればと思い始めて、一人で東京に出たもののお先真つくら度胸をきめて向かいました。まず宿泊ホテル、八十五才のおばさんにはさがして頂き、日本橋の近くの小さなホテルにてなんとか一泊。明日はとにかく桃林寺さま集合、むちやくちや車にのり、托鉢の会所につき、ほつと胸をおろしました。皆々様は二十人ほど、久し振りにて雲水にもどった気分で、足の倍ほどの大きいわらじにて心うきうき気分。出発前の茶礼にお菓子みかんをもくもく頂きました。

受け付けに七人ほどならびて、めずらしく思いそれを写真を撮つたがまったく写らず、ほとほと自分があきれました。講演会のお話しも楽しく聞かせて頂きました。良きお話しの数々、楽しい雅叙園にて本当によき勉強させて頂きなによりでした。



浅草において托鉢

きました。

久しぶりの托鉢で感動のまま始まり、街ゆく人々はなにが始まつたか

と思いつつ止つて目を瞠る者、早や足にてその場を立ち去る者、よほど

「施し下さい」と私は云つてみようかと思いつつ行きました。きよろきよろびつくりぎょうてん、目の前に浅草寺雷門が表れ又々びつくり。

帰りにタクシーででも自分だけ行つてみようかと思つていたにもかかわらず、堂内で諷経で又々びつくり。托鉢に参加させて頂いた事、胸はずませ嬉しくて嬉しくてああよかつたよかったです。

雲水様方に車にのせて頂き、まるつきり自分の家人にでも乗せて頂いている気持ち。雅叙園に向かうも車の方も大変にて道のせまい所もちよこちよこにて、やつと目的地に着き、本当に長い道にて運転手さま方ご苦労さま。私はのんきものの庵住です。

東京の新流会とても楽しくとてもよい思い出となりました。もう一つ心楽しかったのは、祝賀会のアトラクション、若い和尚様の法衣姿でバイト』は私の大好きな歌で、とてもほれられし、よく似合つて感動致し、今でもどこの和尚さん?アイデア満点の和尚様、時々思い出し心を楽しませて頂いております。

すばらしい新流会に出席させて頂き、本当に有難うございました。役員の和尚様、諸々に本当にご苦労さまでした。

東京の新流会とても楽しくとても

よい思い出となりました。もう一つ

心楽しかったのは、祝賀会のアトラクション、若い和尚様の法衣姿でバ

イオリンの演奏、特に『千の風になつて』は私の大好きな歌で、とてもほ

れられし、よく似合つて感動致し、

今でもどこの和尚さん?アイデア満

点の和尚様、時々思い出し心を楽し

ませて頂いております。

すばらしい新流会に出席させて頂き、本当に有難うございました。役員の和尚様、諸々に本当にご苦労さまでした。

寺院荘嚴具・仏像・仏具・仏壇
位牌調製 製造販売
妙心寺派寺院御用達

真心で創る



竹内

株式会社

竹内佛具店

ねもと店
〒507-0078岐阜県多治見市高根町3-75-2(旧248号沿い)
TEL<0572>27-2204
FAX<0572>27-2204ショールーム
〒507-0833岐阜県多治見市広小路3-28
TEL<0572>23-8746
FAX<0572>24-1008

十五周年記念式典に

参加させて戴いて

無量寺 野田 慈正

過日は、薪流会十五周年記念式典に会員の一人として参加させていただきましたことを大変嬉しく思つております。

あのように盛大な講演会及び祝賀会となりましたのも偏に役員の方々のご尽力の賜物だと實に感謝致す次第に他なりません。

まずは、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げたく存じます。ありがとうございました。そして、大変お疲れさまでございました。

私どもは、十年ほど前になりますがご縁がありましてこの薪流会に入会させていただきました。

以来、活動及び行事を通じましていろいろな方々との出会いがあり親交を深めてまいりましたことに改めて感謝致しております。

さて、今回におきましては坐禅会、托鉢にはじうしても都合がつかなかつた為に已む無くご無礼させていただくなつたたちになつてしましましたが、有馬頬底老大師様によります講演会、その後行われました祝賀会、祝宴に

は参加させていただきました。

有馬頬底老大師様の『禪の心』

の心』のお話を拝聴させていただき折には、茶の湯を慈しむ者として思わず「そうですね。」と云わぬばかりに記憶しております。

祝賀会、祝宴におきましては、様々

な方々と歓談させていただけまし

時間が、とても楽しく、大変有意義なものとなりました。

また、浜松方広寺派管長であり、

この薪流会の総裁でもあられます大

隠窟老大師様のいつもながら変わらぬお元気なお姿を拝見いたしまして、

大変嬉しく思いますと同時にわたく

しもまだまだ精進精進であると痛感

いたしました。

祝宴の際のバイオリンの演奏を樂

しませていただけたのは、最近の言葉を使つていうのならばサプライズ

とでも申しますようか。

また、御礼のお言葉ともにお話し

下さった「あしなが育英会」の方の

阪神淡路大震災の被災者の小学生の

女の子のこと、これには思わず目頭

があつくなる思いでございました。

ここで少しお話を振り返らせてい

ただきます。

小学生の女の子が震災の前日、つ

い宿題をやり残して寝てしまいまし

た。母親は、それを気遣い震災当日娘さんに宿題をさせるためいつもよ

り早起きをし台所に立つていたために命をおとすという痛ましい被害に遭われてしまつたというお話をでした。

女の子はどれだけ悔み、悲しみ小

さな胸を痛めたことははかり知れ

ません。

でも、女の子は悲しみを乗り越え

るとともに悔いを残さないように生

きていくことを学んだのでしょうか。

わたくしはおもいます。

わたくし達、僧籍を有する者にとつて故人の供養は基よりご遺族、ご親

族の方々に悲しみを和らげ癒すことの大切さを再認識しなくてはいけないのではないでしょうか。

当たり前じゃないですかといわれ

るかもしれません、その当たり前

過ぎるからこそ、ともすると蔑ろになつてしまいがちです。

心新たに、今後ともより一層精進

して参りたいと思つております。

そして、薪流会の趣旨の一つでも

あります、社会的弱者の支援活動等

におきましても微力ではございます

が、参加させていただく所存でござ

文化を未来へ !!

社寺建築専門・設計施工・文化財修復

株式会社 小島建設

代表取締役 小島 隆



本社 〒511-0045 三重県桑名市伝馬町103番地
TEL. 0594-22-6200 FAX. 0594-23-3745
関東事業所 〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地1-15-2-103
TEL. 044-272-3511 FAX. 044-272-3533

合掌

方言詩紹介 松尾静明氏 方言詩「わが標準語」より

く ぼ み

家んもだれんとこの石が
(家の軒下の所の)

くぼんで 水がたまつとる

空が そけえ写つてから
(そこへ)

雲が 往つたり戻つたりしとる

打たれて

打たれつづけて

ひと いうもんも

ひとつのかくぼみゆう持つとると思う
(くぼみを)

ただのう

その くぼみい写るもんが
(もの)

軒下のくぼみい写るもんのように

澄んで写つたら ええんじやが



松尾静明（まつお・せいめい）

1940年、広島県賀茂郡大和町生まれ。18歳の頃から木下夕爾氏に師事。広島市内の印刷会社に勤務する傍ら、詩、童話、小説、書評などを書いてきた。詩集『丘』で第33回小熊秀雄賞、詩集『都会の畑』で第34回日本詩人クラブ賞を受賞。2001年秋に九冊目の詩集『方言詩 わが標準語』を出版。日本詩人クラブ会員、日本現代詩人会会員、広島県詩人協会副会長、日本中国文化交流協会会員。広島市在住。

御法衣・莊嚴具・稚児貸衣裳

△山田八郎法衣店

〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39-31
電話 (052) 241-1817 FAX (052) 241-1834

平成19年12月13日

臨済宗 薪流会
会長 保子 合謙 様

特定非営利活動法人
交通遺児等を支援する会
理事長 岩本 みゆき

拝啓 寒さもひとしお厳しくなってまいりました。
この度は、薪流会報発足15周年のお祝いの音楽を申しあげます。
薪流会様には、日頃より交通遺児家庭の子どもたちに、温かいお心をお寄せいただき、心より感謝申しあげます。
本年も、心温まる貴重なご洋財を頂戴いたしました事、重ねて厚く御礼を申し上げます。
頂戴いたしましたご洋財は、交通遺児家庭等の子どもたちに、より一層の幸運が運べるよう、大切に活用させていただきます。
今後とも当会に対する更なるお力添えを賜りますよう、真心よりお願い申し上げます。
末筆ながら貴会益々のご発展を、心よりご祈念申しあげます。

敬具



お礼を述べられる「交通遺児等を支援する会」



禅の妙相

大本山妙心寺・臨済宗各御本山御用達

御袈裟法衣



莊嚴仏具調進司

後藤新助法衣仏具店

妙心寺門前

〒616-8041 京都市右京区花園寺ノ前町30番地
電話(代表) 075-462-3915/FAX 075-462-3616
URL <http://www.rinzai.jp>

駐車場完備



寄付金を贈呈



領收証

2008年6月5日
第 税印16

¥400,000-

私、「紅の薔薇」運営資金として
上記金額に領收させていただきました

中日新聞 2007年11月29日に掲載

ふれ愛言葉
清香苑
株式会社
ホームページ <http://www.union-jp.net>

セレモニーホール
日本ライン会館
日本ラインの流れと共に
大切なひとときを
可児市今渡1482-8
24時間受付 葬儀のお問い合わせは 0120-62-3171

下初 **ISO9001**
(葬祭サービス)を取得!
日本儀礼文化調査協会 (JECIA)
【五つ星認定】
セレモニーホール
まほら会館
水と光がおりなす
感動のセレモニー
可児市広見1012-1
0120-62-3780

いい人いい事いい伝播
**おぶつだんの
清香苑**
可児市広見1664
0120-62-3780

托 鉢 報 告

平成十九年十一月二十五日(日)東京都台東区の妙心寺派桃林寺様を会所にお借りいたしまして、九時参集、会員・役員・雲水総勢二十五名十時より市内托鉢出向途中浅草の浅草寺様にて本尊託鉢し、斎座後解散。



平成十九年度 東京托鉢義援金

(順不同・敬称略)

金一封

方廣寺	大隱窟老大師	静岡県浜松市(方)
萬壽寺	巨闊窟老大師	大分県大分市(妙)
天授院	岫雲軒老大師	京都府京都市(妙)
徳源寺	江松軒老大師	愛知県名古屋市(妙)
妙興寺	孤雲室老大師	愛知県一宮市(妙)
梅林寺	悠江軒老大師	福岡県久留米市(妙)
萬壽寺	開闢窟老大師	大分県大分市(妙)
大仙寺		
龍翔寺閑柄		
養德院	横江桃國	京都府京都市(妙)
大岩宗哲	靜岡県浜松市(方)	
三重県度会郡(妙)		
一万円	平林寺	埼玉県新座市(妙)
二万円		
三万円		

埼玉県新座市(妙)

方廣寺
萬壽寺
天授院
徳源寺
妙興寺
梅林寺
萬壽寺

大隱窟老大師
巨闊窟老大師
岫雲軒老大師
江松軒老大師
孤雲室老大師
悠江軒老大師
開闢窟老大師

静岡県浜松市(方)
大分県大分市(妙)
京都府京都市(妙)
愛知県名古屋市(妙)
愛知県一宮市(妙)
福岡県久留米市(妙)
大分県大分市(妙)

五千円

和田啓道
林良忠
西等閑

</

十五周年贊助金

(順不同・敬称略)

(協賛企業)	
清香苑	五万円
平賀石材工業所	三万円
メモリアルアートの大野屋	天眞堂
	澤野法衣店
	山田八郎法衣店
	紙I N G
	昌慈法衣店
	神田法衣店
	株サライ
	有永田印刷
	二万円
紀文	岐阜県名古屋市
公益社	京都府京都市
春嶽大堂	愛知県名古屋市
お仏壇の丸三	岐阜県美濃市
浜松信行社	京都府京都市
石勝	岐阜県可児市
	岐阜県美濃加茂市
	岐阜県山県市
	京都府京都市
	東京都大田区
	岐阜県多治見市
	静岡県浜松市
	岐阜県御嵩町
戸崎建築設計	愛知県清洲市
五百万元	五百万元
梅林寺	方広寺
萬壽寺	大隱窟老大帥
龍雲寺	巨闊窟老大帥
養德院	天授院
四十万円	五十万元
岐阜県可児市	悠江軒老大師
福岡県久留米市	大分県大分市
静岡県浜松市	東京都世田谷区
京都府京都市	横江桃國
保子令謙	



15周年記念事業決算報告

収入 13,123,349円
 支出 13,123,349円
 残高 0円

自 平成18年1月1日
 至 平成19年12月31日

収 入

(単位：円)

収入	項目	予 算	決 算	比 較
賛 助 金		5,500,000	9,821,500	
	正副総裁・顧問・参与	2,500,000	5,851,500	3,351,500
	大会顧問・薪流会役員	1,500,000	2,390,000	890,000
	会員	1,000,000	590,000	▲ 410,000
	企業	500,000	490,000	▲ 10,000
	その他	0	500,000	500,000
托 鉢 ・ 托 鉢		900,000	1,334,705	434,705
	托鉢	700,000	933,236	233,236
	墨跡展	200,000	300,000	100,000
	講演会場	0	101,469	101,469
薪流会会計より		600,000	620,000	20,000
	18年度会計より	70,000	70,000	0
	19年度会計より	530,000	550,000	20,000
祝 賀 会		0	1,130,000	1,130,000
	賀儀	0	1,130,000	1,130,000
講 演 会 場		0	92,000	92,000
	会費	0	92,000	92,000
雜 収 入		0	125,144	125,144
	色紙・書籍売り上げ	0	122,600	122,600
	利息	0	2,544	2,544
合 計		7,000,000	13,123,349	6,123,349

支 出

(単位：円)

支 出	項目	予 算	決 算	比 較
記 念 事 業		800,000	800,000	0
	HP立ち上げ・保守	800,000	800,000	0
寄 付 金		700,000	830,000	130,000
	あし長育英会	350,000	400,000	50,000
	交通遭児等を支援する会	350,000	400,000	50,000
	歳末助け合い(中日新聞)	0	30,000	30,000
緊 急 援 助 基 金		1,000,000	2,586,691	1,586,691
	緊急援助基金	1,000,000	2,586,000	1,586,000
	一般会計へ		691	691
会 場 等 経 費		2,000,000	3,518,598	1,518,598
	会場等経費	2,000,000	3,518,598	1,518,598
経 費		1,000,000	1,801,044	801,044
	講演料	500,000	700,000	200,000
	役員会	200,000	258,905	58,905
	事務費	150,000	632,873	482,873
	通信費	150,000	209,266	59,266
交 際 費		0	962,355	962,355
	菓儀・回敬等	0	360,000	360,000
	土産等	0	602,355	602,355
宿 泊 交 通 費		1,500,000	1,961,561	461,561
	東京大会当日	900,000	1,201,102	301,102
	東京下見	300,000	532,794	232,794
	化 縁	300,000	227,665	▲ 72,335
記 念 品		0	663,100	663,100
	講演会	0	208,500	208,500
	祝賀会	0	319,360	319,360
	贊助企業	0	135,240	135,240
合 計		7,000,000	13,123,349	6,123,349

平成19年度 会計決算報告

一般会計

収入 5,157,347円
 支出 5,157,347円
 残高 0円

平成19年度 一般会計報告

収 入

(単位・円)

項目	予 算	決 算	比 較	備 考	前年度決算額
賛 助 金	600,000	490,000	▲ 110,000	正副総裁・顧問・参与	593,000
会 費	600,000	478,000	▲ 122,000	役員・会員	534,000
事 業 収 入	500,000	565,485	65,485	色紙収益	537,954
広 告 収 入	600,000	630,000	30,000	会報広告掲載料	650,000
贊 助 企 業	150,000	0	▲ 150,000	15周年事業協賛へ	125,000
雑 収 入	50,000	3,723	▲ 46,277	預金利息他	19
繰 越 金	2,990,139	2,990,139	0		2,596,312
合 計	5,490,139	5,157,347	▲ 332,792		5,036,285

支 出

(単位・円)

項目	予 算	決 算	比 較	備 考	前年度決算額
本 部	50,000	50,000	0	活動費	50,000
浜 松 支 部	50,000	30,649	▲ 19,351	活動費	33,835
事 務 費	400,000	431,299	31,299	要覧作成・事務用品 他	304,001
通 信 費	200,000	119,821	▲ 80,179	郵送料・宅配便 他	141,710
会 議 費	200,000	225,085	25,085	会所費 他	172,041
文 化 部	350,000	350,000	0	研修会事業費（15周年）	188,169
編 集 部	900,000	828,538	▲ 71,462	会報編集・発行	846,248
托 鉢 部	100,000	100,000	0	托鉢事業費（15周年）	29,301
財 務 部	50,000	7,090	▲ 42,910	事業費	50,841
慶弔 費	20,000	0	▲ 20,000		80,000
交 際 費	80,000	80,000	0	中外日報・文化時報広告	80,000
十五周年事業費	100,000	100,000	0		70,000
繰 越 金	2,990,139	2,834,865	▲ 155,274	次年度へ繰越	2,990,139
合 計	5,490,139	5,157,347	▲ 332,792		5,036,285

特別活動基金 3,233,000円

前年度繰越金	647,000
今年度積立金	2,586,000
合 計	3,233,000

会 計 監 査 報 告

平成19年1月1日より平成19年12月31日間の会計（十五周年記念事業決算含む）について、帳簿等証拠書類を照合致しましたところ、厳正且つ正確に処理されていますことを、認めましたのでここに報告申し上げます。

平成20年2月1日

監事 伊 藤 錦 寶



監事 戸 崎 知 則



法衣店主の つぶやき

神田法衣店

神田 新三

馬鹿ばかりして年月が過ぎ、本当に商売と云う物も分から無いで気が付けば50過ぎ。この頃の年月の早さには本当に驚かされるばかりです。この頃は和尚さんでも無い私に商売柄なんでしょうか「何で、お葬式をやらないといけないんですか?」とか「何でお墓に入らないといけないんでしよう?」と若い人達に質問されます。多少は自分なりに宗教の勉強は、してきたつもりです。でも、この質問には本当に困りました。臨済宗の法衣類で商いをさせて頂いている神田法衣店も、まだ私で二代目。色々な知識を、まだまだ吸収しないと思ひ色々な和尚様に「この臨済宗と云う宗教は帝王学なんでしょうか?」と質問させて頂いておりますが、その答えと云うと見事に十人様に聞けば十人様とも違う答え。

今まで亡くなればお葬式をして、そしてお墓に入る、ごく自然な考え方です。そう云う考え方が通用しなければなりません。それならば四半世紀もしくは半世紀前の方々の方が野性的で文句も多く批判精神も十分に有りましたが、どう考えて昔の方々の方が、面白く、そして多少は怖くつて楽しい人が多く昔の人達の方が余程、個性的だつたと私は想うんですが如何でしよう。そこで又、話は大きく逸れてしまふんですが現在の修行されてる方と昔の修行されたいわゆる雲水様の違ひなんですが、私が一番目に感じるのは、まず食欲の差なんです。昔、日本中が貧乏で食べ物が無く食に對して貪欲だったとしても、強烈でした。いつも神田法衣店では、"うどん供養"つて事で年末の12月に毎年三人の雲水様に、うどん40玉をお出しおりました。京都にある各・専門道場どこも一玉も残さず綺麗に食べて帰られておりました。又ある雲水さんなど「あと五玉程あれば大変助かるのですが?」つて事で五玉、追加して御出したビックリの思い出もあります。二番目には清潔さ・綺麗好き、現存の雲水さんは、それなりに、ぶつきらぼうな所もあり豪快

い若い人達は、我々50才過ぎと違つて個性的なんでしょうか?。でも街中を見渡して見れば、若い人達は同じ様な服装で同じ様な髪形で私が見ても個性的とは、とても云えません。それならば四半世紀もしくは半世紀前の方々の方が野性的で文句も多く批判精神も十分に有りましたが、どう考えて昔の方々の方が、面白く、そして多少は怖くつて楽しい人が多く昔の人達の方が余程、個性的だつたと私は想うんですが如何でしよう。そこで又、話は大きく逸れてしまふんですが現在の修行されてる方と昔の修行されたいわゆる雲水様の違ひなんですが、私が一番目に感じるのは、まず食欲の差なんです。昔、日本中が貧乏で食べ物が無く食に對して貪欲だったとしても、強烈でした。いつも神田法衣店では、"うどん供養"つて事で年末の12月に毎年三人の雲水様に、うどん40玉をお出しおりました。京都にある各・専門道場どこも一玉も残さず綺麗に食べて帰られておりました。又ある雲水さんなど「あと五玉程あれば大変助かるのですが?」つて事で五玉、追加して御出したビックリの思い出もあります。二番目には清潔さ・綺麗好き、現存の雲水さんは、それなりに、ぶつきらぼうな所もあり豪快

な所もあり又、熱い気持ちの人達も沢山おられます。でも30年から50年前の雲水さん達は、やはり時代なんでしょうか。着られれば、それで良い、決して綺麗とは云え無い、私から見れば、好んで汚れた物を着ていられる様にさえ思える雲水さんが本当に多かったです。そこで、最初の話に戻るんです。「どうしてお葬式をやらないといけないんでしよう?」「どうしてお墓に入らないと、いけないんでしよう?」本当は最初ただ若い人達の"わがままな言い分"あまり面倒な事には関わりたく無い」と云う様に思つておりました。でも、それも少なからず有ると想うんですが、この頃、特に若い雲水さんと接する時間が多くなつてきて。現在の雲水さんも、それなりに、しつかりした時間がかかるんです。帝王学とは?これらも考えれば50才過ぎの和尚様から聞いていました。でも「どうしてお葬式をしなければならないの?」「どうしてお墓に入らないといけないの?」この若い一般の人から聞いた質問。今度は若い雲水さんに聞いてみようと思います。

どうも、まとまりの無い話で誠に申し訳ございませんでした。

御 法 衣 ・ 荘 嚴 具 調 達

臨濟宗各本山御用達

大 黒 屋

株式会社



神 田 法 衣 店

〒604-0001 京都市中京区室町通丸太町下る道場町15番地
電話 京都 (075) 221-3507(代)
FAX (075) 252-5098番

◎地下鉄 京都駅～烏丸丸太町下車④番出口徒歩3分◎

謝 辞

薪流会十五周年記念事業

実行委員長 大野祥雲

臨済宗薪流会は、大隱窟老大師の下「上求菩提下化衆生」を目的に、平成四年に発足、本年（十九年度）十五周年を迎えることが出来ました。

ご承知の通り、摂心（坐禅会）・托鉢・研修会・を通して会員相互の向上と、微力ながら社会福祉団体支援活動を続けて今日に至っています。この十五年間の集大成として、また薪流会の更なる充実と飛躍を期して東京大会を計画致しました。

会員皆無に等しい関東・大都会東京での開催と全て始めての経験に加え、一昨年の目黒方面の托鉢、会員二十数名の鴈行と大都会の喧騒との



静寂な堂内

ミスマッチに、大会の成功に不安を懐きつつ準備となりました。ですが会長を中心として役員各位の強力な結束の基に推し進めることができました。東京大会の講演会及び墨跡展は盛況・祝賀会は盛大裏に納め、また托鉢・坐禅会も肃々と進めることが出来ました事を『薪流』十七号を以ってご報告申し上げます。

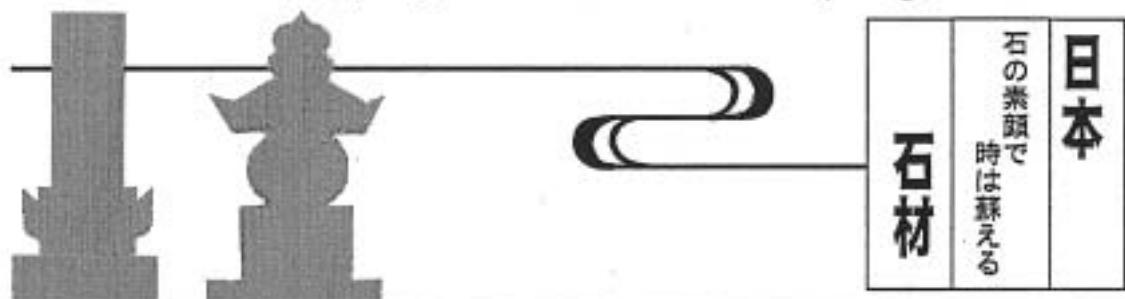
末筆乍がら、東京大会の開催に際し、相国寺派管長有馬頼底老大師様を始め多くの方のご指導ご協力を賜りました。茲にご厚意に感謝申し上げ衷心より御礼申し上げます。なお会員一同「上求菩提下化衆生」を旨に精進致すことを誓い謝辞に代えさせていただきます謝々。

十九年冬 合掌



接心を終えて（相国寺東京別院）

家族のきずな ご先祖様の安らぎを永遠に…



(株)日本石材



0120
50-5563

本社：〒600-8371 京都市下京区大宮松原下る西門前407番地
TEL 075-841-5562 FAX 075-841-5564
東京支店：〒105-0004 東京都港区新橋2丁目18-6
TEL 03-5568-7030
大阪支店：〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西1丁目3-4
TEL 06-6634-9857
神戸支店：〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目2-7
TEL 078-382-2292
その他 4支店12営業所

〈事業内容〉

- * 墓地・霊園に関するアフターサービス
- * 公園・霊園設計及びモニュメント等の企画・作成
- * 近代的な墓地・霊園の開発業務

平成二十年三月三日 館山寺温泉
 「ホテル九重」に於いて、
 総裁大隱窟老大師（方広寺）
 顧問弧雲室老大師（妙興寺）
 顧問間関窟老大師（萬寿寺）
 ご臨席のもと三十二名の出席にて第
 十七回総会を開催いたしました。
 開会に当たつて総裁猊下より、「十
 五周年記念事業の成功おめでとうご
 ざいます。『上求菩提・下化衆生』で
 益々全国的に世界的に活躍していた
 だきたい」と挨拶をいたいた後、
 議長に、上田宗演（幹事長）を選出
 し、①十五周年記念事業事業報告・
 決算報告 ②平成十九年度事業報告・
 決算報告 ③監査報告 ④平成二十
 年度事業計画・予算案 ⑤十五周年
 実行委員会閉会等をそれぞれ審議・
 承認いただきました（別紙二十年要
 覧参照）。また保子会長より「保子令
 謙会長辞任及び同会長残任期間を副
 会長の大野祥雲に会長就任を推挙す
 る」の緊急動議が提言され、承認さ
 れました。新入会員紹介の後閉会と
 なりました。

第十七回 総会報告書

平成二十年度 新流会

本部役員名簿

会長	大野 祥雲	大雄寺
副会長	安部 良道	徳生寺
	妻木 謙英	長保寺
幹事長	上田 宗演	元昌寺
総務部長（会計・書記）	富賀見 浩道	西禪寺
伝導部長	向 向令孝	祥光寺
財務部長	妻木 謙英	長保寺
文化部長	山本 正憲	洞興寺
編集部長	慈師寺 良晋	龍泉寺
部員	加藤 幹人	千手寺
托鉢部長	黒田 宗廣	林泉寺
浜松支部長	藤田 晃道	甘露寺
監事	伊藤 鑑寶	円光寺
戸崎 知則	内見院	

二つの歴史を大きな幹に、切磋琢磨し、
 これからも伝統ある匠の技を継承して参ります。

中村社寺（旧中村建設社寺部門）を仲間に迎え、力を合わせて、ご愛顧にお応えして参ります。

飛鳥時代

第三十代敏達天皇六年
 西暦五七八年創業
 【四天王寺 金堂】

剛
金剛組

543-0061 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号
 電話 06-8779-7731 <支店>東京・名古屋・京都

平安時代

元禄元年
 西暦九七〇年創業
 【中村社寺 三重塔】

中村社寺

491-0866 愛知県一宮市城崎通7丁目4番地3
 電話 0586-71-7821 <支店>東京・埼玉



東証一部 高松建設グループ

金剛組 www.kongogumi.co.jp

新流会謹製伝導掲句のご案内

『上求菩提 下化衆生』寺院の伝

導掲示板に禅を掲げませんか!!

我々一山を預かる住職として檀信徒教化の伝導物として山門及び玄関等に、その季節・行事にあつた禅的な伝導掲示が必要でないでしょうか。

自々の禅の浅深はともかく、本来ならば個々の禅的体験から湧き出る金言を掲示出来れば良いのですが、想いと裏腹に的確な表現が出来ず、つい一般流通の掲示物に頼る次第であります。この一般流通の掲示物は通ります。この一般流通の掲示物は通

(七二〇mm×五一四mm)×十句
和紙工芸印刷
※バラにての配付はいたしかねます。

体裁

一セット

方広寺派管長 大井際断

薪流会総裁
萬寿僧堂前師家 西尾宗滴

掲示句揮毫者紹介

大隱窟老大師

妙心僧堂前師家 雪丸令敏

巨闕窟老大師
孤雲室老大師

妙心僧堂前師家 雪丸令敏

江松軒老大師
孤雲室老大師

妙心僧堂前師家 雪丸令敏

西尾宗滴 薪流会副總裁

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

西尾宗滴 薪流会顧問

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

西尾宗滴 薪流会顧問

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

萬寿僧堂前師家 雪丸令敏

申し込み

左記担当者まで、電話・ファックス・ハガキにて、住所・寺名・氏名・電話番号・申し込みセツト数をお知らせ下さい。

【担当】薪流会財務部

岐阜県可児市久々利一七〇八一一
長保寺内
TEL〇五七四一六四一五三二七
FAX〇五七四一六四一四七四九

商品発送時に請求書・振込用紙を

支払方法

同封いたします。

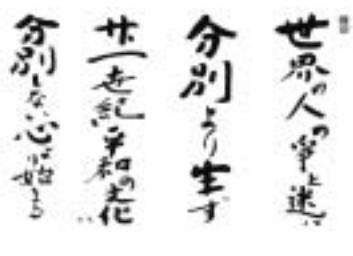
三〇〇部 限定発行

以上

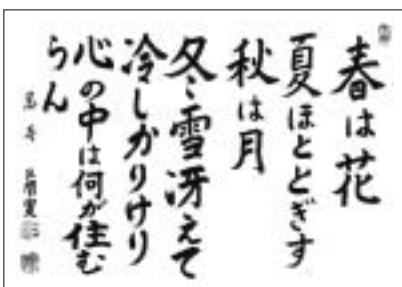
価格

一五〇〇円(税込み)(会員割引)

送料／宅急便 着払い



大隱窟老大師 挥毫



巨闕窟老大師 挥毫



岫雲軒老大師 挥毫

石のヒラガ

有限会社 平賀石材工業所

墓石・仏壇・記念碑・造園資材
灯籠・建築石材張石工事

本社・工場/〒431-3907 静岡県浜松市天竜区佐久間町川合922
TEL.053(965)1232 FAX.053(965)0921
袋井支店/〒437-0066 静岡県袋井市山科字前田3256-1
TEL.0538(43)0510 FAX.0538(43)0350

浜北支店/〒434-0015 静岡県浜松市浜北区於呂1377-5
TEL.053(588)7503 FAX.053(588)7096
豊橋支店/〒441-8026 愛知県豊橋市羽根井西町12-11
TEL.0532(32)5730 FAX.0532(32)5730
豊川インター店/〒442-0801 愛知県豊川市上野2丁目48
TEL.0533(84)7854 FAX.0533(86)1581
静岡営業所/〒426-0036 静岡県藤枝市上青島字一里山560-1
TEL.054(641)7131 FAX.054(641)7135
裾野支所/〒410-1124 静岡県裾野市水窪34-6
TEL.055(993)8581 FAX.055(993)9971
浜松営業所/〒433-8103 静岡県浜松市北区根洗町1116
TEL.053(438)2788 FAX.053(438)2730
浜松石材センター/〒433-8105 静岡県浜松市北区三方原町701-2
TEL.053(438)8235 FAX.053(438)8237
お仏壇ギャラリー/〒433-8108 静岡県浜松市北区根洗町1115-2
TEL.053(414)2010 FAX.053(414)2011



平成21年 お正月用色紙見本

薪流会のホームページができました。
ぜひひらくご覧ください。
<http://www.shinryukai.jp/>

大隱窟老大師揮毫色紙
(工芸印刷)
解説書・たとう紙付 (折込み済)
ご好評頂いております総裁猊下揮毫
の正月用色紙を本年も発売致します。

一枚 三三〇円 「送料別・税込」
(但し一般は四三〇円)

※寺院の方は五〇枚単位にて御願い
致します。
(但し在家の方は十枚単位より受付
致します。)

申込み先 (左記の二万寺にて受け付けます)

大雄寺
〒509-0030
岐阜県加茂郡川辺町下麻生一九九八
TEL ○五七四一五三一六七五五
FAX ○五七四一五三一六九二三

今後も「上求菩提下化衆生」
を胸に、精進いたしますので皆
様のご指導、ご鞭撻、ご教授を
宜しく申し上げます。

◎編集後記◎

薪流会会報もおかげを持ちま
して十七号を発行することがで
きました。

発行するにあたり、今回会報

編集にあたり、自身の未熟さを
痛感致しました。ゆえに役員の
皆様には多大なるご迷惑をかけ
まして深謝申し上げます。そし
て、多大なるご指導を頂き誠に
ありがとうございました。

臨 濟 宗 各 派
御 荘 嚴 製 裳 衣 調 進 所

加 藤 法 衣 店

〒453-0047 名古屋市中村区元中村町1丁目72番地
電話 052 (471) 1496
FAX 052 (471) 1681

大本山妙心寺御用達
臨濟宗法衣仏具調進所

澤野 法衣店

〒615-8238 京都市西京区山田車塚町15-81
電話 京都 (075) 392-6181番
FAX (075) 391-6181



有限会社 永田印刷

〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町1-1-34
TEL <0574> 25-2729 · FAX <0574> 26-8089

徳生寺

〒434-0041

静岡県浜松市浜北区平口五四八
TEL ○五三一五八七一〇〇五
FAX ○五三一五八七一〇〇九